## 事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当	部署名	都市建設部 ま	ちづくり・交通課	担当課長名	8				
(※) 第2期実施	計画の事業名	まちなみ保	存整備事業	財務会計」	この事業名	まちなみ保存補助事業			
	実施計画の /事業番号	1012	1	財務会計上	の短縮番号	5113			
	章	第1章にぎわいと活力	あふれるまち						
総合計画の体系	節	第1節駅周辺を中心とした市街地の整備							
	項目	項目2池田駅周辺地区				m+/<			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

事務事業	

会計区分(会計名を記入)	☑ 一般会計 □ 特別会計( ) □ 企業会計( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	旧池田町の中には古い建築物や歴史・文化資産が分布している。これらが持つ風情のある佇まいを 保存し、後世に伝える。
事業の対象 (誰を、何を)	まちなみ保存区域内の建造物所有者
事業の手段・方法 (どのように)	まちなみ保存区域内に存在する建造物の新築・修理を行う所有者に対して補助金を交付する。
実 施 期 間	☑ 継続(平成 16 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)
実施根拠	□ 国・府の制度 □ 国・府の制度+市独自の制度 ☑ 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市まちなみ保存整備事業補助金交付要綱

## 2 重業費等

2 事	業費等										
	区 分	27 <sup>至</sup> (決:		28 年度 (決算)			29 年 (決算		30 <sup>4</sup> (予	H29/H28	
	事業費(千円)		0		197			877	3,000		445.2%
主な	補助金		0				877		445.2%		
内											-
訳											-
,	人 件 費 (人・千円)	0.21	1,596	0.09	666		0.12	912	0.10	780	133.3%
	正職員	0.21	1,596	0.09	666		0.12	912	0.10	780	133.3%
	再任用短時間勤務職員		0		0			0		0	-
内	任期付職員(フルタイム)		0		0			0		0	-
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0			0		0	-
	非常勤職員		0		0			0		0	-
	臨時的任用職員		0		0			0		0	-
	支 出 合 計 A	1,596		863		1,789				207.3%	
	国·府支出金										-
財	地方債										-
源	その他( )									-	
你	うち受益者負担 B										-
	一般財源 C		1,596		863			1,789		3,780	207.3%
	一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%			100.0%		100.0%	100.0%
	受益者負担率 B÷A										-
	受益者負担の見直し	□ 1 実	施済(平成	年度)			2 実	施予定	Ø	L	
	上記の内容										

•		トソー		12 AT	4
.3	71/	トソー	ンン	ク評	100

3 7	フトン	<u>/ーシ</u>	ング割	<b>产性</b>													
	現状の	のアウ	トソーシ	ノング		1 す/	べて導え	入済		□ 2	一部導	入済		Ø	3 未	導入	
1又	(は20	の場合	♪:導フ	人の効果		コスト肖	削減		サー	ビス向上		事務	簡略化		その他	<u>h</u> (	)
		上	記の内	容													
今後			の場合のアウト	): ソーシング		可能			Ø	不可能							
7 12				可能な業務													
		見	し込まれ	る効果	П												
			누글	己の内容	_									_			
						ナ事帯ルギの塩叶ム水体に囲むするのでもり、土獣星がつこ。と楽なったすとユ											
	不可	能の場	易合:追	選択の理由	本事美	本事業は市の補助金交付に関するものであり、市職員が行うべき業務であるため。											
4 月	_	達成	状況、	有効性・	办率性	評価				ı							
	実施計画	1	玄	分		内		容		単 位		年度 (績)	28 年度 (実績)		年度	30 年度 (予定)	目標値 (H30)
II.a	目標		活動	□ 成果		抽田	]件数(!	思 (書 )		件	-	25	26	_	27	30	33
指						THILLY	刀下奴(:	州(1見)		117	-	20	20			30	33
標			活動	成果													
値			活動	□ 成果													
			活動	□ 成果													
			活動	□ 成果													
	成:	果のi	<b></b>	:況		□ A 順調に推移している □ B 順調に推移していない □ C 判断できない □ C 判断できない											
			択の理		これまでの実績からH30年の目標件数の値達成は難しい。												
有効			のため なって	の有効な いるか			有効的 改善の	である 余地がた	よい)	В	改善の	余地が	ぶる 🗌	С		りでない 的な見直した	ぶ必要)
性・効			は効率 できてV				効率的 改善の	である 余地がた	まい)	В	改善の	余地が	ぶある 🗌	С		的でない 的な見直した	ぶ必要)
率性評価		票値や		曲 費の推移に て記入)	補助領	制度の	効果的	な周知	活動を	行い、補助	助申請	を促す	•				
				当部長の	評価												
				度におけるし(直近)	Ø	実施	平	成 28	年度				□ 未実	施			
		見正	直しの内	勺容	補助	対象区:	域、条何	件及びタ	処分制	限に関し	て、要終	岡改正	を行う。				
			度の取 年度は			1 拡列	t L	<b>Z</b> 2 ‡	見状維	持	] 3 絹	宿小	□ 4 廃	此		5 その他	
		上	記の内	容	事業績	継続。											
現在	抱える	課題	111	果 題	補助領	制度の	舌用実	績が少	ない。								
そ	の対象	策	文	対 策	補助領	制度の	効果的	な周知	活動を	行い、補助	助申請	を促す	0				
				上記の記	評価を	:踏まえ	て、担	当部县	長が考	える今後	(平成	31年	度以降)の	取組	方針		
		取組	l方針			1 拡列	t <b>C</b>	<b>7</b> 2 §	見状維	持	] 3 絹	宿小	□ 4 廃	止		5 その他	
		選	択の理	曲									継続していく 負討していく		:事業で	である。	

## 事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

	担当台	部署名	都市	建設部 ま	ちづくり・交	通課	担当課長名 脇尾 真次							
()		計画の事業名					財務会計_	上の事業名	立地適	定事業				
	(※) 第2期 分類番号	実施計画の /事業番号					財務会計上	の短縮番号		5133				
		章	第1章にぎ	わいと活力	あふれるま	ち								
総合詞	計画の体系	節	第1節駅周	辺を中心と	した市街地	の整備								
		項目												
1 1	「務事業の	御町				※総合	計画第6章に	係る事業は「湘	也田市行財政	改革推進プラ	ンⅡ」による。 <sup>*</sup>			
		計名を記入)	☑ 一般会計 □ 特別会計( ) □ 企業会計( )											
		の目的 吉果を得るか)	人口減少、少子高齢化が予測されており、また、中心市街地の空洞化等も懸念されるため、都市全体の構造の見直しや機能更新を検討し、持続可能な都市づくりをめざす											
	事業の	の対象 、何を)	体の構造の見直しや機能更新を検討し、特続可能な都市つくりをめさす 市街化区域											
	事業の手	・段・方法 ように)	都市全体の観点から居住機能、都市機能の立地、公共施設の再編、国有財産の有効活用、医療、福祉、教育、防災、経済・商業など市域全域における都市の課題を総合的に見出し、その課題解決のための施策や誘導方針を定める											
	実施	期間	☑ 継続	(平成 29	年度~)		□ 時限	(平成	年度 ~	平成	年度)			
	実施	根拠	☑ 国・用	5の制度		国・府の制	度+市独自	目の制度	□ 市独日	自の制度				
	※根拠法と	その条項	都市再生特別措置法											
2 🛊	業費等								1					
	区	分	27 <sup>4</sup> (決		28 <sup>4</sup> (決			年度 算)	30 <sup>4</sup> (予	H29/H28				
	事業	費(千円)		0		0		6,320		-				
主な内	計画	策定委託料		0		0 5,940				-				
訳											_			
	人件費	(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.05	380	0.11	858	-			
		正職員		0		0	0.05	380	0.11	858	-			
		豆時間勤務職員		0		0		0		0	-			
内		は員(フルタイム)		0		0		0		0	-			
訳	任期付職	員(短時間勤務)		0		0		0		0	-			
	非'	常勤職員		0		0		0		0	_			
	臨時	的任用職員		0		0		0		0	-			
	支 出	合計A		0		0		6,700		15,716	-			
	国•	府支出金						0			-			
財	:	地方債									-			
,	その他(	)									_			
源	うち	受益者負担 B									-			
	— <u>f</u>	般財源 C		0		0	6,700 15,716 -							
	一般財源出	上率 C÷A						100.0%		100.0%	-			
	受益者負担	□率 B÷A									-			
	受益者負	担の見直し	□ 1 実	施済(平成	年度)		□ 2 実	施予定		3 予定無	l			
	£	記の内容												

アウトソーシング評価	
租业のアウトソー・ハング	Г

<u> </u>	ソヤ	<u> </u>	<u> イク 計1</u>	Щ													
	現状	のアウ	トソーシ	ング	Ø	1 7	すべて導	<b>淳入済</b>		□ 2 -	一部導	入済			3 未	導入	
13	(は2	の場合	合:導入	の効果		コス	卜削減		] サー	ビス向上		事務	簡略化	Ø	その化	<u>h</u> (	)
		上	記の内容	¥	計画領	計画策定業務を委託し、事務簡略化が図られた。											
今後			の場合:			□ 可能 □ 不可能											
	可能	の場合	າ:導入可	能な業務													
		見	し込まれる	る効果		□ コスト削減 □ サービス向上 □ 事務簡略化 □ その他 (										)	
			上記	の内容													
	不可	能の均	場合:選	択の理由													
4 页	、果の	達成	状況、7	有効性・	办率性	評価	fi										
	実施 計画 目標		國	分		Þ	Ą	容		単位		年度 :績)	28 年度 (実績)		年度 実績)	30 年度 (予定)	目標値 (H30)
指			活動	☑ 成果		立地	適正化計	十画の策	定	件		_	-		-	1	1
標			活動	□ 成果													
値			活動	□ 成果													
			活動	□ 成果													
			活動	□ 成果													
	成	果の	達成状?	兄	Ø	ΑЛ	順調に推	単移して	いる	□в∥	頁調に	推移し	ていない			C 判断で	きない
		選	択の理	由	H30年度計画策定に向け、H29年度は素案を作成し、都市計画審議会にて報告済み。												
有効			のための なってV		Ø	☑ A 有効的である  □ C 有効的であい  □ B 改善の余地がある □ C (抜本的な見直しが必要)											
性			は効率的 できてい		Ø	✓ A 効率的である (改善の余地がない) □ B 改善の余地がある □ C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)											
効率性評価		票値や	択の理的 事業費の 言及して	の推移に	H30	年度	計画策	定に向い	ナ、引き約	売き業務を	実施。						
				当部長の	評価												
半成事	25年 業内	要~平 容の	成29年度 見 直 し	における (直近)		実施	<u>ti</u> 3	平成	年度				☑ 未実	施			
		見正	直しの内	容													
			度の取 年度比			1 ‡	広充	<b>2</b> 2	現状維	持	3 絲	小	□ 4 房	ĔЩ		5 その他	
		上	記の内容	\$	H30	年度	計画策	定に向い	ナ、引き約	売き業務を	実施。						
現在	抱える と	課題	課	題	特に	なし											
7	の対	策	対	策													
				上記の記	評価を	·踏a	まえて、	担当部	長が考	える今後	(平成:	31年	度以降)σ	取組	1方針		
		取組	1方針			1 ‡	広充	<b>2</b> 2	現状維	持	3 絲	小	□ 4 房	ĔЩ		5 その他	
		選	択の理に	由	H30	年度	計画策	定に向い	ナ、引き約	続き業務を	実施。						